



大阪労働局発表  
平成26年10月30日



担当	大阪労働局労働基準部安全課
電話	06-6949-6496

## 「安全の見える化」事例、常設展示を開始

### ～「安全見える化運動」を積極的に推進～

大阪労働局(局長 中沖 剛)は、労働災害の減少を図るため、労使の自主的な安全衛生活動を促進し、健康が確保され安全で安心な職場の実現を目指し、平成26年10月1日から、「安全の見える化」事例の常設展示を開始しました。

「安全見える化運動」は、昨年度から大阪労働局が独自に進めている取組であり、職場に潜む危険を写真やイラストなどにより、目に見える形にすることによって効果的に安全衛生活動を展開するものです。

府内のすべての事業場への周知、広報を進めることにより、危険への「気づき」を高め、より安全な「考動」を促し、労働災害の減少を目指します。



**場 所**：大阪市中央区森ノ宮中央1-15-10 大阪中央労働総合庁舎  
(大阪中央労働基準監督署の1階)

**開館時間**：9時～17時(土・日・祝日、年末年始は休館)

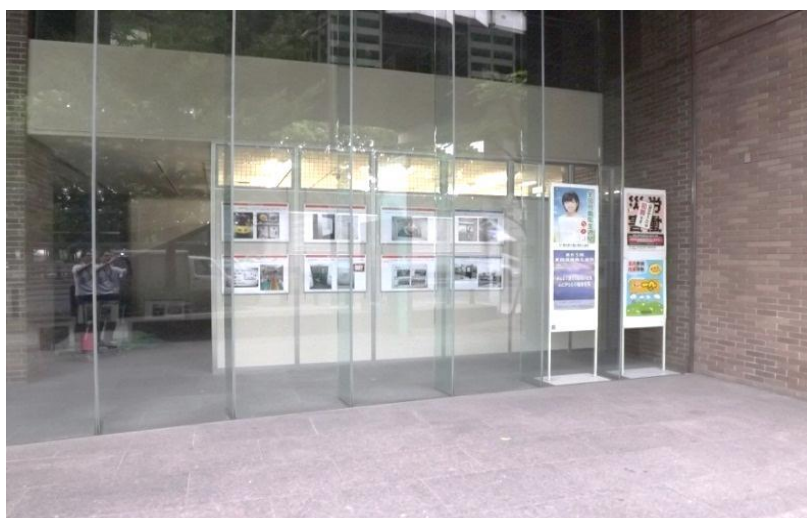
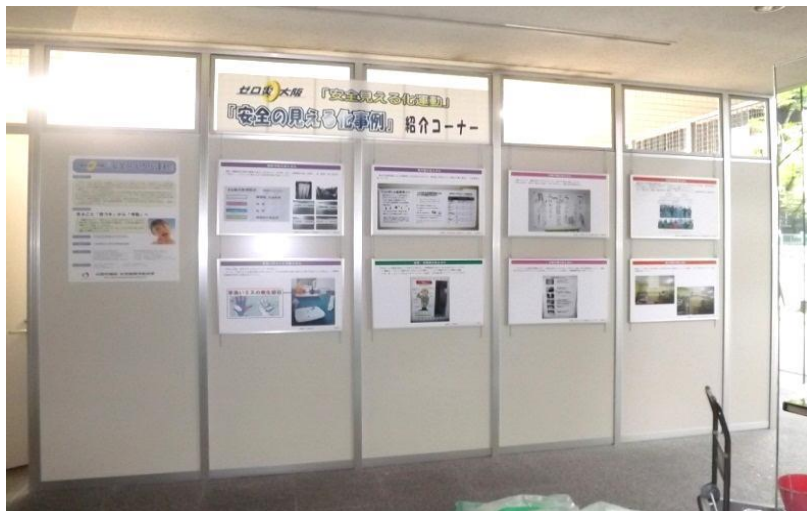
**入館料**：無料

**展示内容**：★安全衛生管理体制・安全衛生活動の見える化  
★安全衛生情報・危険を防止するための見える化  
★健康障害を防止するための見える化 などの事例

※企業規模、業種を問わず、取り組むことができる効果的な活動です。

なお、「安全の見える化」事例は、昨年度、大阪労働局長表彰の受賞作品(別添リーフレット参照)を中心に展示しており、今後、新たな「安全の見える化」事例を追加していく予定です。

「安全の見える化事例」紹介コーナー



大阪中央労働総合庁舎（大阪中央労働基準監督署 1階）

## 『安全見える化運動』

### 趣旨

ゼロ災・大阪「安全見える化運動」は「災害ゼロ・疾病ゼロの大阪」を実現することを究極の目標として、労働災害の防止、重篤災害の撲滅に向け、働く者すべてがそれぞれの立場で健康が確保され安全・安心な職場の構築を目指し、自主的に安全衛生活動を実践していく職場風土、安全文化を構築していくための啓発活動です。

この運動は、平成25年度を初年度とする大阪労働局労働災害防止推進計画の目標を達成するため、安全の見える化の普及促進を図ることにより、工場、現場、事務所、店舗などの職場に潜む危険や安全衛生活動等を積極的に目に見える形にすることにより、労使の自主的な労働災害防止活動を促進し、健康が確保され安全・安心な現場・職場の実現を図ろうとするものです。

このため、大阪労働局、管内各労働基準監督署、各労働災害防止団体及び関係者が連携し、積極的に本運動を展開しています。

### スローガン

## 見ること「気づき」から「考動」へ

職場において、「見ること」がきっかけとなって、心の中に「気づき」が生まれ、見える前とは異なる、より安全を優先する「思考」や「行動」につながる。

このような観点から、本スローガンにより「安全見える化運動」を展開することとする。



### 期間

平成25年度から5か年

### 主唱者

大阪労働局及び管内各労働基準監督署

### 協賛者

公益社団法人 大阪労働基準連合会  
 中央労働災害防止協会 近畿安全衛生サービスセンター  
 中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター  
 中央労働災害防止協会 大阪安全衛生教育センター  
 建設業労働災害防止協会 大阪府支部  
 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 大阪府支部

港湾貨物運送事業労働災害防止協会 大阪総支部  
 林業・木材製造業労働災害防止協会 大阪府支部  
 一般社団法人 日本ボイラ協会 大阪支部  
 一般社団法人 日本クレーン協会 近畿支部  
 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会 大阪府支部  
 一般社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会 大阪支部

### 協力者

公益社団法人 関西経済連合会  
 大阪商工会議所  
 大阪府中小企業団体中央会

一般社団法人 大阪建設業協会  
 一般社団法人 大阪府トラック協会



大阪労働局・各労働基準監督署

<http://osaka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>



# 優秀事例

(事例を参考に「安全の見える化」を推進しましょう。)

平成25年10月30日(水)から同11月1日(金)までの3日間、大阪城ホールをメイン会場に開催された第72回全国産業安全衛生大会(主催:中央労働災害防止協会)に併せてインテックス大阪5号館で安全衛生保護具・安全機器等の展示や安全衛生の最新情報と技術を紹介する「緑十字展2013」が開催されました。

大阪労働局では、全国初の試みとして、この会場内に専用ブースを設け、「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』」を通して収集した、500件を超える事例の中から49件の好事例を厳選し、「安全見える化パネル展」として、これらの取組を広く紹介しました。

さらに、来場者の方に、「自社でも導入したい事例」「安全見える化に相応しい事例」など「いいね!」と思った事例を選出していただき、その投票により決定した優秀事例について大阪労働局長から表彰状を贈りました。

### ◆最優秀賞(1事業場)

- ・竹中工務店・奥村組・大林組・大日本土木・銭高組共同企業体『あべのハルカス』建設工事

【熱中症予防対策の見える化】



### 熱中症予防対策の見える化

熱中症警戒レベルを、アニメ風に表示し、各レベルごとの休憩時間や給水回数を表示することで、見やすくしている。

その日のWBGT温度に応じて、該当する顔絵を囲んだり、その顔絵のマークを朝礼時に写すプロジェクターに挿入したりして、注意を促したりしている。

熱中症を予防しよう!				
WBGT	21℃以下25℃未満	25℃以下28℃未満	28℃以下31℃未満	31℃以上
熱中症警戒レベル				
	注意!	警戒!	厳重警戒!	危険!
水分・塩分補給	1回以上 / 60分	1回以上 / 60分	1回以上 / 45分	1回以上 / 30分
	午前1回 午後1回	午前1回 午後1回	午前2回 午後2回	午前3回 午後3回
「めまい」「こむらがり」は熱中症の前兆です。すぐに休憩しましょう!				
・株式会社 竹中工務店 実施期間: 2013.5~2013.9				

### 高さ制限の見える化

商品の入った段ボール等を積み上げる場合の高さを制限するトラバーを設置し、併せて表示を行うことで、遵守の徹底を図っている。



### ◆優秀賞(3事業場)

- ・ロイヤルホームセンター(株)森ノ宮店

【高さ制限の見える化】

- ・奥村組土木興業(株)新名神高速道路安威川橋(下部工)工事

【作業責任者の見える化】

- ・日新製鋼(株)

【見えないところの見える化】

### 作業責任者の見える化


職長や作業主任者等のヘルメットに色テープを取り付けることで、他の作業員や管理者から一目でわかるようにしている。

前後・左右と上部からも識別でき、作業指示が適切に行えるようになった。



### 見えないところの見える化

- ①通路がヤードをまたがって設置されており付近に設備があるため、天井クレーンからヤード進入者が見通せない状態である。歩行者がヤード進入時、天井クレーンがコイルを吊って移動中の場合があり、ヒヤリ・ハットが発生した。
- ②ヤード進入手前に一旦停止の表示を設け、その位置から見やすい位置に、できるだけ目立つ大きさで、通行者にクレーンへの注意喚起を行っている。



- ◆奨励賞（4事業場）
- ・日鉄住金テックスエンジ(株)（旧・太平工業(株) 堺支店）
  - ・味の素パッケージング(株)関西工場
  - ・敷島製パン(株)大阪豊中工場
  - ・日本生命新東館建設工事共同企業体(大林・竹中JV) 日本生命新東館新築工事
- 【走行速度の見える化】  
【作業区分エリアの見える化】  
【通行区分と階段の見える化】  
【作業分担の見える化】

### 走行速度の見える化

フォークリフトにスピード警報装置を設置した。この装置は2段階の設定速度を超過すると運転席の警報ランプが点滅するほか、車体後部のランプも点灯して運転手以外からも見える。この装置が走行速度の抑制につながっている。



### 作業区分エリアの見える化

フォークリフトと作業者が混在する作業場において、長期間雇用している作業者は、作業場所のルールを理解しているが、季節によって多数雇用する短期間の作業者については、フォークリフトと接触することがあった。このため、短期間の作業者においても分かり易いよう4つの色分けルールを決めたところ、フォークリフトとの接触災害が無くなった。



### 通行区分と階段の見える化

階段に通行区分を明示するとともに、事故が起りやすい最後の3段にカウントダウンの表示をして、注意喚起を行っている。



### 作業分担の見える化

掘削下部にいる作業者の役割分担を、ベスト及びヘルメットに「ヘルバンド」を取り付けることで区別し、適切な作業指示が出来るとともに、作業者自身にも自覚ができ、責任感を持って作業を行うようになった。また「点滅ランプ」を取り付けることにより、上部から作業者が認識しやすくなった。さらに、鍛冶工など、重機との関連作業が多い職種では、点滅ランプを2個にすることで、視認性を高めるのに効果がある。



- ◆特別賞（2事業場）
- 《アイデア賞（安全部門）》
  - 《アイデア賞（衛生部門）》

- ・(株)ティーエフ大阪
  - ・王子物流(株)
- 【後方確認エリアの見える化】  
【手洗いポイントの見える化】

### 後方確認エリアの見える化

フォークリフトの後方に写真のようにトラロープを張り、当該トラロープ部まで振り向いて確認することで、後方確認を確実にしている。



### 手洗いポイントの見える化

手洗いの際、実はきれいに洗えていないことが多い。そこで、手洗いミスの発生部位を見える化し、それを洗面所の壁に掲示する事で手洗いミスを防止し、作業者の感染症予防に効果をあげている。

#### 手洗いミスの発生部位





# その他の事例

## ◆スーパーやホームセンター、社会福祉施設などが取り組んでいる事例

### 感染予防の見える化

厨房（職員用の食事の調理を含む）内において、まな板、包丁、保管場所を肉（赤色）、魚（青色）等と色分けして表示し、ノロウイルス等による2次汚染の防止を図っている。

### 整理・整頓の見える化

バックヤードの商品の配置等、終業時にこの状況を整備させ、翌日の作業がスムーズに出来るよう整理整頓の基本形を掲示した。

### 操作方法の見える化

引き戸での指詰め災害防止のため、実際に手で持つ場所を絵で示し、開け方を掲示している。

### 作業手順の見える化

介護ヘルパーが、腰痛防止にかかるポスターを、手作りで作成し掲示している。手作りの方が、活字より親しみがあり、目につきやすく、記憶に残る効果がある。

### 作業手順の見える化

ノロウイルス対策の床掃除に当り、「薬品を素手でさわらない。混ぜると危険」等の注意事項について、写真を用いたわかりやすいマニュアルを作成し、スタッフルームに掲示し、健康障害の防止を図っている。

### 糖分量の見える化

糖分の過剰摂取による血糖値の上昇を防止するため、掲示板に飲料水ごとの糖分の量を掲示し、注意喚起を図っている。

飲料水	シガー・スティック (本)	砂糖の量 (g)
カルピスウォーター 500ml	18	94.0
CC Lemon 500ml	17	93.5
カルピスウォーター 500ml	17	93.5
カルピスウォーター 500ml	11	55.5
普通の軟水 500ml	7	35.0
コーー 1本	4	12.0
アサヒ 1本 45ml	4	11.0
お茶	0	0

このリーフレットに掲載している事例の他にも多くの事例があり、大阪労働局ホームページのトップページ「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』」からダウンロードいただけます。各社の安全衛生活動の参考に活用してください。